国語	第２学年	安芸太田町立加計中学校	指導者　山本　康美

単元名

「説得力のある表現とは？君は『最後の晩餐』を知っているか」

本単元で育成する資質・能力　コミュニケーション能力 ，主体性・積極性

1　単元について

（1）生徒観

本学級では１年時に「読むこと」の単元において，「段落の役割や構成をつかむ」「筆者のものの見方や考え方をつかむ」「書かれてある事実を正確にとらえる」の３点を意識した言語活動を設定し，学習を展開した。また，３学期に国語の授業で絵の分析の仕方を学んでいる。

生徒たちは，有名な絵画である『最後の晩餐』を目にしたことはあるだろうが，じっくり絵を分析した経験はないと思われる。また，文章を読んで筆者の分析の仕方を言葉でたどっていくことはできても言葉と絵を結びつけ，実感を持って読み進めることはできにくいと考える。そこで，知識構成型ジグソー法を取り入れて，文章を分担して分析し，それを他者に伝えることで，言葉と絵が結びついた実感としての理解となり，さらに表現のうまさや筆者の絵に対する思いの深さまで読み取らせることができると考えた。

（2）単元観

本単元は，学習指導要領「C　読むこと」の指導事項「ウ　文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」「エ　文章に表れているものの見方や考え方について，知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと」を受けて設定するものである。評論を読み，表現の仕方について考える。文章の表現には書き手の目的や意図があり，そうした目的や意図についても考えさせることを想定している。文章の構成や展開，表現の仕方について「自分の考えをまとめる」際には，「根拠を明確に」することを重視する。そこで，筆者の目的や意図やその効果を考えることで，日常において自分の考えを書いたり発表したりする際に使える力として身に付けることができる。

中学校３年間を通じた「読むこと」のねらいは「目的や場面に応じる」ことである。読むことによって何を得て，どう活用するのかという読むことの意義を理解し，本や文章などの内容や形態に応じて読むことができるようにするものである。今回取り上げる評論は，ある事柄について，筆者固有の考え方や感じ方を述べた文章である。それゆえ，それを正しく読み取ることが重要であり，固有の考え方を述べるために読み手によりよく理解させるための表現・構成上の工夫がされている点に着目させることができる。

本教材では，解剖学，遠近法，明暗法などの科学的知識を駆使したレオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』を「かっこいい」という日常語で語ったところに，筆者固有の考え方や感じ方を読み取ることができる作品である。

（3）指導観

中学校の授業で初めて出会う評論文である。説明的な文章の学習では，事実を正確に読み取ることが大切であるが，それに加えて，書き手の個性的なものの見方・考え方をつかませ，表現の工夫に気付かせたい。そして，新しいことを知る，また，違う視点でものを見ることで自分の考えや視野が広がるという評論を読む楽しさを実感させたい。そのために，指導に当たっては，次の３点について特に留意する。

① 題設定の工夫

まず,本文を読む前に既習事項の「絵の分析」の観点を使って『最後の晩餐』の特徴を考える。そして,自分の絵の見方と筆者の絵の見方を比較する中で，評論文に表れている筆者の見方・考え方に興味を持ち，本文を読み深めていこうとする意欲を高める。

② 報収集→整理・分析の工夫

知識構成型ジグソー法を使って,３つの技法が『最後の晩餐』に,どのような効果として表現されているのか根拠を持って説明させることで，評論の特徴に気付く。

③ 実行の工夫

授業の中で見つけた筆者の表現の工夫を役立たせながら自分も評論家になって自分の好きなもので評論文を書く。

２　単元の目標

○筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとする。
（国語への関心･意欲･態度）

○用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取ることができる。（読む ア，ウ）

○筆者の絵画の見方について，知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめることができる。
（読む　エ）

○語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにすることができる。
（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（２）イ（イ）

３　単元の評価規準

国語への関心･意欲･態度	読む能力	言語についての知識･理解･技能
① 筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとしている。	① 用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取っている。(ア，ウ) ② 筆者の絵画の見方について，知識や体験と関連付けて，自分の考えをまとめている。（エ）	① 語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにしている。

４　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成したい能力は，①コミュニケーション能力　②論理的・建設的批判能力　③主体性・積極性　④回復力・耐える力　⑤自らへの自信　⑥高い志　の６つである。

本単元では，『最後の晩餐』を通して，画家レオナルド・ダ・ヴィンチが絵に込めたメッセージや手法を筆者が評論として読者にどう伝えているか。筆者の絵の見方や分析の視点を知ることで，絵の「かっこよさ」の根拠を明らかにすることをねらいとしている。協調学習の手法である知識構成型ジグソー法を用いて，仲間と主体的に問題解決に取り組むことで①「コミュニケーション能力」を育成することができると考える。また，課題設定を工夫したことから，これまで学んだ絵の分析を使って自分の考えを明らかにした上で，評論を読んで筆者の考えや評論の特徴を明らかにしていく過程から生徒の③「主体性・積極性」を育成しながら，授業を展開できると考える。

5　指導と評価の計画（全5時間）

次	時	学　習　内　容	評　価	
			評 価 規 準・【評価方法】	資質・能力の評価
1	1	課題の設定 ○　単元の学習計画を知り，学習課題をつかむ。 ・『最後の晩餐』をどんな絵だと思うか？を一言で書く。 ・これまで学んだ絵の分析の方法を使って個人で絵の鑑賞文を書く。 ・　本文プリント段落①～⑨を読み,鑑賞文と評論文を比較する。	○筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとしている。（関） 【行動の観察･記述の確認】	③主体性・積極性
	2	情報の収集・整理・分析 ○　エキスパート活動 ・３つの技法を説明するために情報を整理分析する。 ○　ジグソー活動 ・3つの技法を合わせて，自分たちの絵の見方と評論家である筆者の見方の違いを明らかにする。 ○　クロストーク ・各班の考えを交流し，それぞれの共通点や相違点から筆者の見方の違いに迫る。	○用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取っている。（読ア，ウ） 【行動の観察･記述の確認】	①コミュニケーション能力
	3	整理・分析・まとめ ○　評論文の特徴を捉えて筆者のものの見方や表現の仕方のうまさをつかむ。 ・修復前の絵と修復後の絵を比較して考える。	○筆者の絵画の見方について，知識や体験と関連付けて，自分の考えをまとめている。（読エ） 【行動の観察･記述の確認】	
	4 5	実行 ○　筆者の『最後の晩餐』に対する見方を踏まえたうえで,評論家になって自分の好きなもので評論文を書く。	○語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにしている。（言）　【行動の観察･記述の確認】	③主体性・積極性

６　本時の学習指導（第１時/５時間）

（１）目標

○筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとする。

（国語への関心・意欲・態度）

（２）本時の評価規準

○筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとしている。

（３）準備物

プリント，拡大版『最後の晩餐』

（４）学習過程

学習活動	指導上の留意事項　◆支援	評価規準【評価方法】	資質・能力の評価
○1枚の絵『最後の晩餐』を提示して,感想を一言で発表させる。	◇全員に「この絵は～な絵だ。」と思う。とテンポよく発表させる。		
目　自分の絵画の見方と筆者の絵画の見方を比較してみよう。			
○既習事項である「絵の分析」を使って鑑賞文を書く。 【絵の分析の視点】	◇絵を分析してみることで一人一人の感じ方の根拠は何なのか？を明らかにする。	・筆者の絵画の見方や表現の仕方について考え，自分のものの見方や考え方を広げようとしている。（国語への関心・意欲・態度） 【行動の観察・記述の確認】	③主体性・積極性
○『最後の晩餐』の鑑賞文を班で交流する。	◇絵の分析をしたプリントを使って4人ずつのグループで交流する。 ◇共通点や相違点を出しながら『最後の晩餐』の見方を出し合わせる。 ◇絵を説明するために必要な絵にまつわる作者の意図や見方の情報がたらないことに気付かせる。		
○『最後の晩餐』がどんな場面を描いたものか本文①～⑨段落の範読を聞いて確かめ,鑑賞文と評論文の違いを出し合う。	◇本文から絵を説明するための必要な情報に線を引きながら聞かせる。		
○単元のゴールに自分の好きなもので評論文を書くことを提示する。	◇鑑賞文と評論文の違いに気付かせて次時につなぐ。		

（第２時/５時間）協調学習（知識構成型ジグソー法）の手法を用いて実施

（１）目標

○用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取ることができる。　（読む ア，ウ）

（２）本時の評価規準

○用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取っている。

（３）準備物

プリント，拡大版『最後の晩餐』，ホワイトボード

（４）学習過程

学習活動	指導上の留意事項　◆支援	評価規準【評価方法】	資質・能力の評価
○前時の内容を振り返り,本時の課題を知る。	・『最後の晩餐』がどんな絵であるかを説明させる。		
エキスパート活動の課題）　評論家になって伝えよう！			
エキスパート活動 **Ａ 解剖学 Ｂ 遠近法 Ｃ 明暗法** ・ 3つの技法を説明するために情報を整理分析する。	・分析した内容を筆者になりきって絵を指し示しながら伝えるように話し合わせる。	・用語などに注目して，文章表現の工夫を読み取っている。（読ア，ウ） 【行動の観察・記述の確認】	①コミュニケーション能力
Ａ　解剖学とは？ どのように表現？…手に託された心の動き（驚き・失意・怒り・あきらめ）の見本帳・手のポーズの見本帳 Ｂ　遠近法とは？ どのように表現？…部屋の奥行きを感じさせる。消失点でキリストが主人公と言うことを感じさせる。まるで設計図のような絵。 Ｃ　明暗法とは？ どのように表現？…右側に光、左側に影。あたかも本物の食堂の延長にあるかのように見える			
ジグソー活動の課題）　自分たちの見方と評論家の見方は，どう違うのか？説明しよう			
ジグソー活動 ・絵と説明（本文からの読み取り）を対応させながら，筆者の絵の見方を確かめる。 ・自分たちの絵の見方と評論家である筆者の絵の見方の違いを考える。	・評論家である筆者の見方を知り,『最後の晩餐』が，どう見えたかグループで交流する。 ・自分たちの言葉で表現させる。 ◆机間指導を行い，意見がまとまらないグループには，言葉を言い換えるなどの支援を行う。		

クロストーク ・各班で出した答えを発表し合い,聞き合う。	・他の班がどのように表現しているかを確認させる。 ◆疑問や納得したことなどを交流させる。		
○　評論の特徴を自分の言葉でまとめる。	・授業前に書いた鑑賞文と筆者の書く評論文を比較して考えさせる。		

本時の学習指導（第３時/５時間）

（１）目標

○評論として示されている表現の工夫や筆者の考えをまとめることができる。（読む　エ）

（２）本時の評価規準

○評論として示されている表現の工夫や筆者の考えをまとめている。

（３）準備物

プリント，拡大版『最後の晩餐』

（４）学習過程

学習活動	指導上の留意事項　◆支援	評価規準【評価方法】	資質・能力の評価
○修復前と修復後の２枚の『最後の晩餐』の絵を比較してその違いを見つける。	◇2枚の絵をペアで見て,違いをホワイトボードに書かせる。		
目　筆者の書く『最後の晩餐』の評論文からまねたい書き方を見つけよう。			
○本文の結論部分を読み,修復から見えてきた『最後の晩餐』の魅力をとらえる。	◇ホワイトボードの記述と本文を読んで見つけた評論家の意見の違いをとらえさせる。		
○2枚の絵の比較と自分たちと筆者の見方の比較の違いをグループで出し合う。 ○グループの意見を全体で交流する。	◇4つの観点で根拠を持って説明させる。		
○筆者の表現の工夫から「評論文を書く」上で取り入れたいことをまとめる。	◇次時から自分が評論を書く上で,筆者の表現の工夫からどう活かしたいかをまとめさせる。	・評論として示される筆者の考え方について，自分の考えをまとめている。 （読む　エ） 【行動の観察・記述の確認】	

本時の学習指導（第４・５時/５時間）

（１）目標

○評論を書くために筆者の表現の工夫や語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにすることができる。　（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（２）イ（イ）

（２）本時の評価規準

○評論を書くために筆者の表現の工夫や語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにしている。

（３）準備物

プリント，評論文冊子，自分の評論文作成に必要な資料

（４）学習過程

学習活動	指導上の留意事項　◆支援	評価規準【評価方法】	資質・能力の評価
○評論文の書き方のポイントをつかむ。 目標　評論家になって評論文を書こう。	◇持ってきた多くの情報の中から決められた用紙の分量で,イラストや写真を効果的に使いながら,自分が伝えたい魅力を3つ程度に絞って書かせる。 ◇表現の効果を出させる。		
情報の整理・分析 ○評論文で伝えたい内容を３つ程度に絞ってレイアウトを考える。	◇付箋を使って考えを整理させる。 ◇筆者の考え方を参考にさせながら自分たちの評論に活用させる。	・語句の効果的な用い方について理解を深め，語彙を豊かにしている。 （伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項） 【行動の観察・記述の確認】	③主体性・積極性
○自分の評論文の3つの内容とレイアウト案をペアで説明し合い,お互いにアドバイスをする。	◇自分がよく知っていることや伝えたいことを興味がない人にどう伝えればよいのかに気付かせる。		
整理・分析・まとめ ○仲間や指導者からもらったアドバイスを活かして再構成する。	◇相手・目的意識を持って，評論文で伝えたい内容を考え直させる。		
実行 ○評論文を書く。	◆本文の書きぶりや問題を投げかけて答える形式などを提案しながら書き進めさせる。		